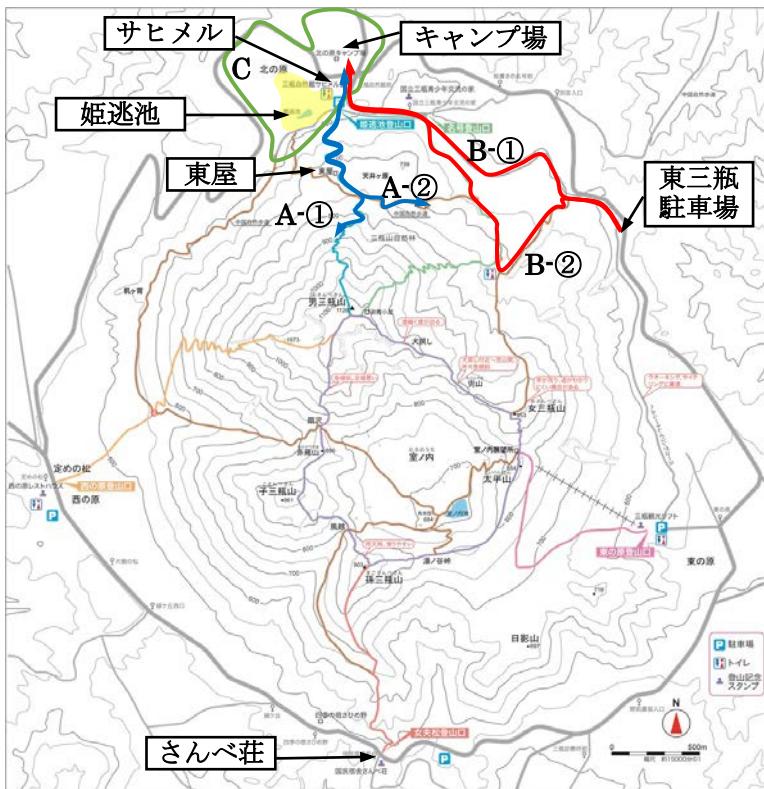


観察地の紹介

3つの観察コースの説明を参考に、申し込み時に希望コースを選択してください。



*24日に一般向けのきのこ観察会が行われるため、姫逃池周辺の一部の地域(黄色の部分)は採集禁止とさせていただきます。

「三瓶山登山マップ」
三瓶山広域ツーリズム振興協議会
ホームページより引用

A. 登山コース（姫逃池(ひめのがいけ)登山口からのコース）

やや健脚向けですが、三瓶山の自然を最も楽しめるコースです。北の原の姫逃池登山口(標高 590m)から男三瓶山方向へ登山道を登ります(シデ・マツ林)。30分ほどでカラマツ植林地に囲まれた東屋(標高 730m)へ到着、ここを拠点とします。東屋からブナ林へは、男三瓶山頂に向け標高 900mあたりまで急登するルート A-①か、中国自然歩道を東進する緩やかなルート A-②に分かれます。観察終了後は全員が拠点の東屋に戻り下山します。三瓶山北斜面の天然林は国の天然記念物に指定されています。

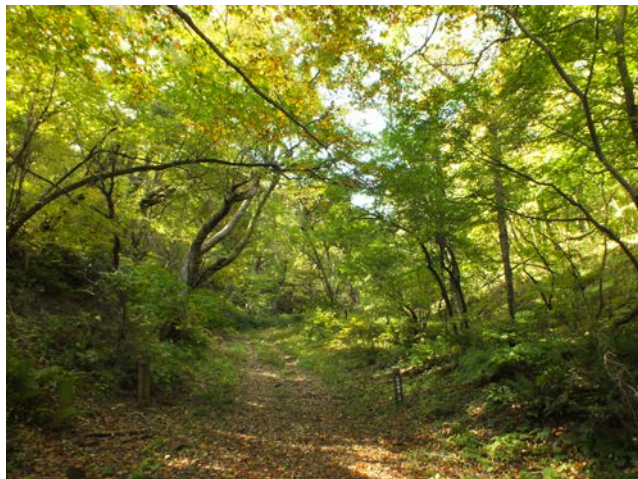
A-①, A-②は同定会場からの往復距離が約 3.6 km です。



B. ハイキングコース（東三瓶の駐車場からのコース）

やや歩きますが、植生の変化もあり平坦な道も選べるコースです。まず、バスで東三瓶の駐車場(標高 570m)まで移動します。そこから平坦なサイクリングロードを北の原方面へ歩きます。山側にはシデ・マツ林やカラマツ植林地が広がっています。400m ほど歩くとブナの大木が目印の分岐があり、そのまま平坦なサイクリングロードに沿って歩くルート B-①と、管理用道路を登るルート B-②に分かれます。B-②ではシデやナラなどの林を観察し（標高 720m）、名号登山口へと下ります。

東三瓶の駐車場から同定会場までの距離は B-①が約 2.6 km、B-②が約 3.2 km です。



C. サヒメル・キャンプ場周辺コース

上記 2 コースに比べると変化に乏しいですが、サヒメル・キャンプ場周辺でのんびり散策したい人向けのコースです。宿泊地となる北の原キャンプ場は広い敷地にマツ林が広がっています。また、北の原にはカシワやクヌギなどが見られ、マツやコナラの混交林を歩く自然観察路があります。案内人はつきませんので、配布された地図を必ず携行してください。2人以上での行動をお願いします。

